



追加型投信 / 海外 / 債券

三菱UFJ 欧州ハイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

【愛称: ユーロスター・プレミアム】

決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日: 2016年4月13日

平素より、「三菱UFJ 欧州ハイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)【愛称: ユーロスター・プレミアム】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2016年4月13日に第46期の決算を迎え、当期の分配金を前期の200円(1万口当たり、税引前)から150円(1万口当たり、税引前)に引き下げましたことをご報告申し上げます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

分配金と基準価額(2016年4月13日)

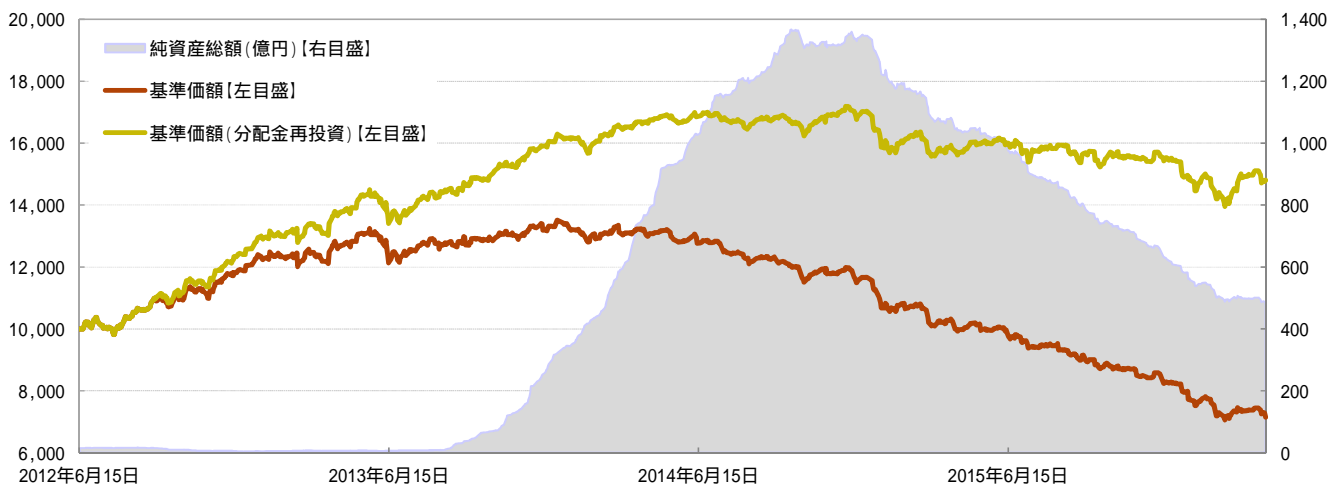
分配金 (1万口当たり、税引前)

150円

基準価額 (1万口当たり、分配落ち後)

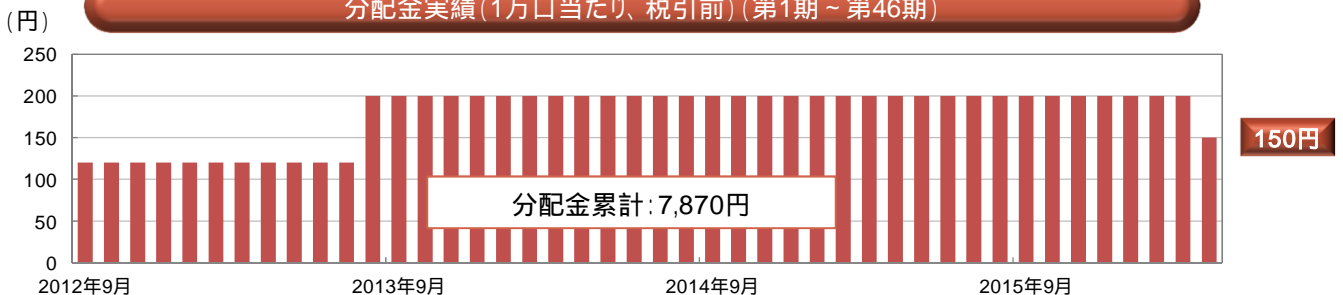
7,147円

基準価額と分配金の推移(期間: 2012年6月15日(設定日) ~ 2016年4月13日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配金実績(1万口当たり、税引前) (第1期 ~ 第46期)



- ・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
- ・分配金実績は初回決算月(2012年9月)から掲載しております。

上記は過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

分配金引き下げについて

基準価額の水準や市況動向等に加え、経費控除後の配当等収益と売買益等の分配対象額も減少傾向にあること等を総合的に勘案した結果、分配金を150円(1万口当たり、税引前)に引き下げることといたしました。

当ファンドの基準価額(分配金再投資)は、設定来、欧州債務問題が沈静化しリスク資産への資金流入が継続したことなどにより上昇基調で推移しましたが、2015年初以降は、ECB(欧州中央銀行)による大胆な金融緩和策導入などでユーロが円に対して弱含む展開となったことから、下落基調に転じました。

こうした中、当ファンドでは毎月の分配金のお支払いを続けてきたことにより、基準価額が2016年3月末時点で7,437円と10,000円を割り込んだ水準にあり、分配対象額も減少傾向となっています。

上記のような状況を鑑み、当ファンドでは基準価額の水準、配当等収益や市況動向等に加え、分配原資の状況等を総合的に勘案し、分配金の水準を下げることにより信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、分配金の見直しを行うことといたしました。

2015年初来の欧州ハイイールド債券市場の振り返り

2015年初から4月中旬にかけて、ECBの金融緩和策を背景にユーロ圏の景況感や企業業績の改善が見られたこと等を受け、欧州ハイイールド債券指数は上昇しました。その後、ギリシャ債務問題への懸念が高まったこと、原油価格が下落したこと、中国景気に対する懸念が高まったこと等から投資家のリスク回避姿勢が強まり、欧州ハイイールド債券指数は下落しました。同年10月にはECBが追加の金融緩和策を講じるとの見方が強まったこと等から欧州ハイイールド債券は上昇に転じましたが、再度中国景気に対する懸念や原油価格の下落等を背景に下落しました。

2016年に入ってから、世界経済に対する悲観的な見方が広がったことや一部の欧州銀行に対する信用懸念が高まったこと、原油価格が続落したこと等を背景に欧州ハイイールド債券指数が軟調に推移する局面が見られましたが、同年2月中旬以降、原油価格が反発したことに加え、ECBが発表した追加金融緩和策が市場予想を上回る内容だったこと等を背景に投資家のリスク回避姿勢が後退し、欧州ハイイールド債券指数は上昇しました。2015年初から2016年3月末までを通じて見ると、欧州ハイイールド債券指数は上昇しました。

2015年初来のユーロ(対円)の振り返り

2015年初から4月中旬にかけて、ECBによる金融緩和策等を背景にユーロは円に対し大幅に下落しました。その後、6月にかけてユーロは対円で買い戻される展開となりましたが、10月にはECBが追加の金融緩和策を講じるとの見方が強まったこと等を受け、年末にかけてユーロは対円で軟調に推移しました。

2016年に入ると、1月に日銀のマイナス金利導入決定を受け、ユーロは対円で上昇する局面が見られましたが、世界経済に対する悲観的な見方が広がったことや一部の欧州銀行に対する信用懸念が高まったこと等を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円が全面高となる中、ユーロも対円で下落しました。

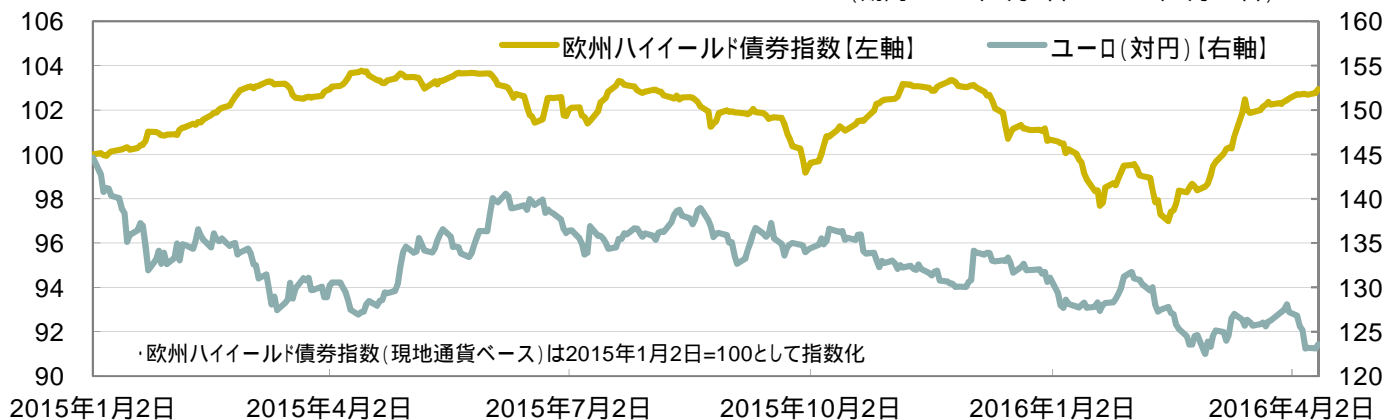
2015年初から2016年3月末までを通じて見ると、ユーロは対円で約11%下落しました。

上記は過去の実績・状況です。本見通しのない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

欧州ハイイールド債券指数(現地通貨ベース)とユーロ(対円)の推移

(期間:2015年1月2日～2016年4月12日)



(出所)ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ国際投信作成

・欧州ハイイールド債券指数(現地通貨ベース)には、BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド コンストレインド インデックスを使用していますが、当ファンドのベンチマークではありません。

2015年初来の当ファンドの運用の振り返り

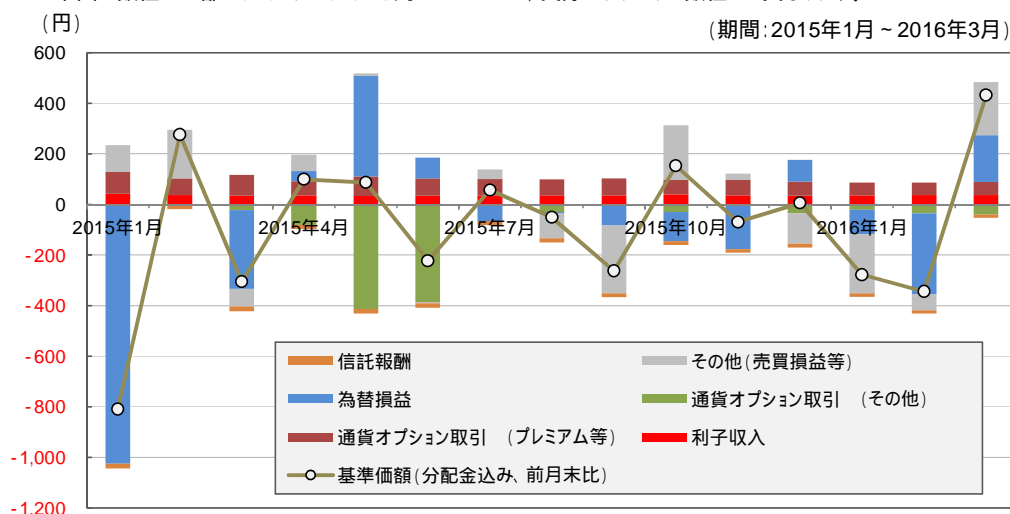
当ファンドが投資する外国投資信託の欧州ハイイールド債券運用では、国別配分において、イタリア等相対的に低い格付国の銘柄の組み入れを市場対比少なめとしました。業種別配分においては、景気変動の影響を受けやすいと考える素材、自動車セクター等の保有比率を市場対比で概ね低めとし、割安な個別銘柄が多く含まれると考える保険、金融サービスセクター等の保有比率を市場対比で概ね高めとしました。格付配分においては、割高と見られるBB格の保有比率を市場対比で低めとし、B格の保有比率を高めとしました。

上記のような運用を行ったことによる利子収入の獲得や、コール・オプションの売却によるオプション・プレミアムを享受したこと等がプラスとなったものの、主に2015年4月から6月にかけての円安ユーロ高局面においてオプション権利行使に伴う損失が発生したこと、ユーロが対円で下落する局面において為替差損が発生したこと等がマイナスとなり、当ファンドの基準価額は下落しました。

(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

2015年初来の基準価額の変動要因分析(月次概算値)(分配金込み)

・下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



・通貨オプション取引のうち、は、オプション・プレミアム収入を簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
 ・は、権利行使に伴う損失を簡便的に算出したものであり実際の値とは異なります。
 ・為替損益は当該ファンドに係る為替評価損益の概算値です。
 ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、通貨オプション取引部分、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
 ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

・上図の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

上記は過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。上記は指数を使用しています。指数については[本資料で使用した指数について]をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

今後の見通し・運用方針

【欧州ハイイールド債券市場の今後の見通し・運用方針】

欧州経済が緩やかな回復基調にあることに加えて、ECBによる金融緩和策の継続は、欧州ハイイールド債券市場に対して中長期的にプラスに働くと見えています。一方、資源価格の低迷や新興国経済の成長鈍化等を背景とした世界経済の先行き不透明感から、価格変動性は高まっています。また、新興国経済の不調による欧州輸出企業の業績への影響等には引き続き注視が必要であると考えます。

こうした環境下、業種別配分においては、景気変動の影響を受けやすいと考える素材、自動車セクターや価格変動率が高いと考えるエネルギー等の保有比率を市場対比で概ね低めとし、割安な個別銘柄が多く含まれると考える銀行、保険、金融サービスセクター等の保有比率を市場対比で概ね高めとします。国別配分において、ギリシャ情勢の不透明性を勘案し、ギリシャを非保有とします。格付配分においては、割高と見られるBB格の保有比率を市場対比で低めとし、B格の保有比率を高めとします。

【ユーロ(対円)及び通貨オプション部分の今後の見通し】

2016年3月にECBが市場の予想を上回る追加金融緩和策を決定したものの、更なる追加緩和に慎重な姿勢を見せたこと等からユーロが対円で底堅く推移する一方、今後投資家のリスク回避姿勢が強まる局面では安全資産としての円の需要が高まる可能性もあります。現状、日欧共に金融緩和継続姿勢について大幅な変更は見込みにくく、ECBと日銀の追加緩和に対する市場の思惑に振り回されやすい状況が続くと予想されますが、欧州経済が緩やかながら回復基調にあること等がユーロの下支えになると見えています。

(出所)UBS社のコメントをもとに三菱UFJ国際投信作成

Q.1 分配金を引き下げた分は、どうなるのですか。また、基準価額への影響はありますか。

A. 分配に充てなかった資金は、ファンドの純資産内に残ります。したがって、分配金支払い後の基準価額は、前回の分配水準と同じ金額を分配した場合に比べて、下落が小さくなります。

投資信託の分配金は預貯金の利息と異なり、投資信託の純資産から支払われます。つまり、分配金はファンドの元本と別に管理されているわけではなく、ファンドの資産の一部として運用されています。そのため、分配金を支払うと、その分純資産が減り、基準価額の下落要因となります。

Q.2 今後、分配金を変更することはありますか。

A. あります。分配金につきましては、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して決定しています。また、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

分配金につきましては、分配方針に従い、基準価額水準や市況動向等を総合的に勘案して決定いたします。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。

様々な要因により分配対象額は変化いたしますので、将来の分配金額については、あらかじめ一定の額をお約束できるものではありません。

本見通し・分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

通貨カバード・コール戦略とは

ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。一方、ユーロ安円高が進んだ場合には、為替差損が発生することになります。くわしくは、下の図をご覧ください。

オプション満期時におけるコール・オプションの売却による効果(ファンドのケース、為替部分のイメージ)

満期時の為替水準	「ユーロ建てハイイールド債券」 の為替損益	円に対するユーロの 「コール・オプションの売却」による損益	
ケース 取引時点より円安・ユーロ高となり 権利行使価格を上回った場合	為替差益 (円安相当分) ^{*1}	プレミアム収入	権利行使に伴う損失 ^{*2}
ケース 取引時点より円安・ユーロ高となったものの 権利行使価格未満の水準にとどまった場合	為替差益 (円安相当分)	プレミアム収入	-
ケース 取引時点より円高・ユーロ安 となった場合	為替差損 (円高相当分) ^{*3}	プレミアム収入	-

*1 「ユーロ建てハイイールド債券」の運用自体においては為替差益が期待されるものの、コール・オプションの売却を組み合わせることで上値が限定されます(権利行使に対応した支払いが生じます)。

*2、*3 プレミアム収入を上回る損失が発生する可能性もあります。

・ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。

・上記は通貨カバード・コール戦略の全てを説明したのではなく、場合により該当しないことがあります。

・ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

・ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。

・上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

通貨カバード・コール戦略における「為替水準」の変化と「基準価額(為替による影響部分)」の関係

通貨カバード・コール戦略では、コール・オプションが満期(下表の例では1ヵ月後)を迎えた場合、そのコール・オプションは清算されて消滅し、新たなコール・オプションを売却することになりますが、為替が短期的に大きく上昇・下落してコール・オプションが満期を迎え、その後為替が元の水準に戻った場合でも、基準価額が元の水準を下回ることがあります。

為替水準の変動によって基準価額(為替による影響部分)が影響を受けるケース(イメージ)

下記イメージは、ユーロ建てハイイールド債券のパフォーマンス、インカム収入等は考慮しておりません。

		緩やかな変動のケース (「105円 104円 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)			急激な変動のケース (「105円 100円 105円」 (当初) (1ヵ月後) (2ヵ月後) と推移した場合)		
オプション 売却時の 前提条件	時期	当初	1ヵ月後		当初	1ヵ月後	
	為替レート	105円	104円		105円	100円	
	行使価格	107円	106円		107円	102円	
	プレミアム	0.7円	0.7円		0.7円	0.7円	
オプション 満期時の 状況・損益	時期	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計	1ヵ月後	2ヵ月後	2ヵ月累計
	為替レート	104円	105円		100円	105円	
	為替相場の状況	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず	ユーロ下落 (円高)	ユーロ上昇 (円安)	変わらず
	債券部分の 為替差損益	-1円	1円	0円	-5円	5円	0円
	オプション・ プレミアム	0.7円	0.7円	1.4円	0.7円	0.7円	1.4円
	オプション被行使 による損失				-3円	-3円	
損益合計		-0.3円	1.7円	1.4円	-4.3円	2.7円	-1.6円

オプション・プレミアムによる
収益獲得

オプション・プレミアムでカバーできず、
損失が発生

実際の運用においては、当該ケースのような極端なカイ離が発生するリスクを抑制するために、コール・オプションの満期日や権利行使価格を分散して投資する等の対応を行います。

シミュレーションに関する留意事項

上記は通貨カバード・コール戦略による損益をイメージしていただくために下記の仮定に基づき算出したシミュレーションです。

実際の運用におきまして、プレミアム・行使価格は為替相場の変動に伴い大きく変化することにご留意ください。

・プレミアム: 為替レートに対し、ターゲットの年率8%の1ヵ月分

・行使価格: コールオプション売却時の為替レートに対し2円高い価格で売却

・ファンドの損益は、上記戦略による損益に加えて、原資産である債券等の価格変動や利子収入等の影響を受けます。

・ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で行うことがあります。

・そのため、個別のお客さまの損益は上記イメージと異なる場合があります。

・上記はイメージ図であり、実際の為替変動および投資損益を示唆するものではありません。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



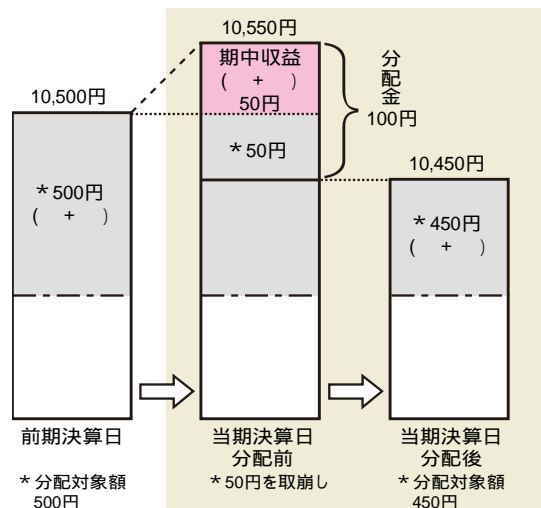
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに分配準備積立金および収益調整金です。

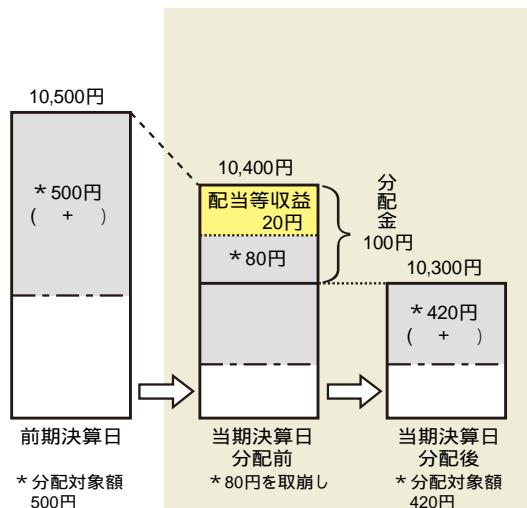
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



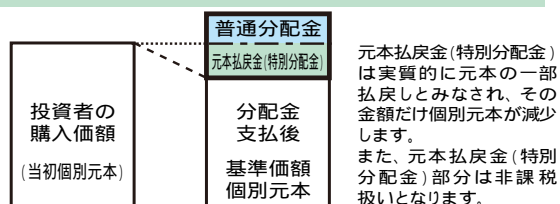
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

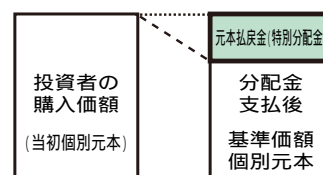
収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却によってオプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用することにより、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

(投資対象)

・主として円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスの投資信託証券への投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を実質的に行います。これにより、一定以上の為替差益を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入を獲得する、通貨カバード・コール戦略を実質的に活用します。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

・コール・オプションの売却に伴い、オプション・プレミアム収入を獲得する一方、権利行使に伴う損失が発生する場合があります。

(ハイイールド債券とは)

・ファンドが投資対象とするハイイールド債券とは、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S & P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。

一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。

(コール・オプションとは)

・コール・オプションとは、株式や通貨などを将来の特定の期日に、合意に基づいて定められた価格(権利行使価格)で買う権利のことです。この権利を売却することで売り手は代金(オプション・プレミアム)を得ますが、同時に満期日において権利行使に応じる義務を負います。当該コール・オプションの満期日において権利の買い手が権利を行使することで、売り手にとって損失が発生する可能性があります。

このように、取引における最終的な損益は、オプション・プレミアム収入に、権利行使に伴う損失を加味して考える必要があります。

ファンドが売却したコール・オプションは時価で評価され、満期日までの当該時価の変動が基準価額に影響します。そのため、コール・オプションの売却時点で、基準価額がオプション・プレミアム収入相当分上昇するものではありません(なお、コール・オプションの売却は円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンド カバードコールシェアクラスが行います)。

(通貨カバード・コール戦略とは)

・ファンドにおける通貨カバード・コール戦略とは、ユーロ建てのハイイールド債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションを売却する戦略です。一定以上の為替差益(権利行使価格を超えたユーロ高によるもの)を放棄する代わりに、オプション・プレミアム収入の獲得をめざすものです。ファンドでは、原則として権利行使が満期日のみ可能なオプションを利用します。

ファンドの損益は、通貨カバード・コール戦略による損益に加えて、原資産である債券の価格変動や利子収入等の影響を受けます。ファンドが実際に行うコール・オプションの売却は、市場環境の変化やファンドの設定・解約状況に応じて複数の異なる権利行使価格、満期日で随時行います。

(為替対応方針)

・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

(運用方法)

・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

(運用の委託先)

・三菱UFJ国際投信は、投資信託証券への運用の指図に関する権限をUBSアセット・マネジメント株式会社に委託します。

(分配方針)

・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。

・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

< 主な投資制限 >

・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。

・外貨建資産への直接投資は行いません。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ...三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。また、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行うため、円安・ユーロ高や対円でユーロの価格変動率が上昇すること等によるコール・オプションの価格の上昇は、基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「通貨カバード・コール戦略について」

ファンドは実質的にユーロ建ての債券への投資に加えて、円に対するユーロのコール・オプションの売却を行います。これにより、円安・ユーロ高による為替差益の一部または全部がオプション取引に伴う損失によって相殺される場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・オプション取引の満期日をまたいで円に対するユーロの価格が大きく変動した際には、その後当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。
- ・円に対するユーロの価格が大きく下落する中でファンドへ大量の資金流入が発生した際には、その後円に対するユーロの価格が当初の水準程度に戻った場合でも、基準価額は当初の水準を下回る可能性があります。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行の休業日 2016年の該当日は1月18日、2月15日、3月25日、3月28日、5月2日、5月30日、7月4日、8月29日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日、12月27日です。なお、休業日は変更される場合があります。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	2021年7月13日まで(2012年6月15日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 くわしくは販売会社にお問合わせください。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

手続・手数料等

ファンドの費用・税金

・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

お客さまが直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜 3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.1988%(税抜 年率1.11%)をかけた額 投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.83%(運用および管理等にかかる費用)(マネー・マーケット・マザーファンドは除きます。) 実質的な負担:当該ファンドの純資産総額に対して 年率2.0288%程度(税抜 年率1.94%程度) 投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・投資対象とする投資信託証券における諸費用・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.24%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 3.24% = 32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。/当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

<お客様専用フリーダイヤル> **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00(土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufj.jp/>

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンドユーロ円プレミアム(毎月分配型)

販売会社情報一覧表

(作成基準日:2016年3月31日)

商号	登録番号等	加入協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第43号	日本証券業協会
第四証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第128号	日本証券業協会
株式会社 千葉銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第39号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社 南都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
UBS証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2633号	日本証券業協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 横浜銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会

【本資料で使用した指数について】

BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド コンストレインド インデックス: BofAメリルリンチ 欧州ハイイールド コンストレインド インデックスとは、BofAメリルリンチ社が算出する欧州のハイイールド債券の値動きを表す指数です。